

平成 26 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

自尊・自浄・自助の三つの要素を育てることで、生徒一人一人を自他に対するよいリーダーとして育成し、「望ましい自己の人生」を獲得する支援を行なう学校づくりをめざす。

人生において「捲土重来」ができる意欲と力を持つ生徒を育てる。

その結果として、心の面でも学びの面でも「三国丘の定時制なら大丈夫」と評価・信頼される学校となることを企図する。

- ◎自尊 …… 自らをかけがえのない存在として大切に思う
- ◎自浄 …… 自らを正しく、清らかな存在にしようと努める
- ◎自助 …… 自らを支え、助ける

2 中期的目標

1 学力伸長と進路実現（本校キャリア教育の推進）

(1) 学力の定着と伸長を図り、確実な進路実現を果たす。

ア 中学校段階以前の欠落部分を補完することが可能な教育課程を編制し、学習到達度の幅が広い教科では習熟度別授業を実施し、モジュールを組み入れ、進路選択時に必要とされる学力を獲得させる。

イ 授業研究チームを核に、ICT を活用したインタラクティブな授業を進め、公開授業や研究授業、授業アンケートを効果的に活用して、授業力向上にさらに取り組み、学力伸長を図る。

※生徒向け学校教育自己診断における授業満足度(平成 25 年度 73%)を毎年引き上げ、平成 28 年度には 80%以上を維持する。

※基礎学力診断テストを、1 年 3 教科で、原則 4 月と次年度 2 月に、同じレベル内容で実施し、生徒の学力伸長度を測定する。

伸長度は毎年引き上げ、平成 27 年度は 35%、平成 28 年度にはそれ以上の伸長度を維持する。

(2) 卒業後の進路を生徒が各自で思い描けるよう、各年次段階に応じて適切な情報を提供・理解させる。

ア 進路指導計画に基づき、各年次に応じて年間数回の進路選択とキャリア能力の育成のためのホームルーム、及びキャリア教育講演会を実施する。

イ キャリア意識が育っている状況を把握するために、2 年次 1 月と 3 年次前期末に生徒の進路志望決定状況を調査し、次のステップへの準備を促す。

ウ 進路選択に役立つよう、各種検定合格や資格取得をめざす。

※3 年間を見通したキャリア教育を推進し、平成 28 年度には進路未定者なしとする。

(3) 進路指導体制の強化により、進路実績の向上をめざす。

ア 企業との連携を進め、インターンシップや応募前見学を充実させる。

イ 卒業年次には、生徒個々に合わせた指導体制により、確実な進路実現を図る。

※平成 28 年度までに、学校紹介等による就職と大学・短大等進学の実績（卒業生総数に対する割合）を 70%以上にする。

2 心の教育の充実（モラル教育に重点を置いた教育体制の構築）

(1) 「社会で正しく生きる」ために、法令を守り、他者の人権を尊重する姿勢を身につけさせる。

ア 法と社会と自身の関係を理解できるよう、各年次で弁護士等を講師とした法教育を実施する。

※平成 25 年度は各年次ごとの実施を位置づけたが、平成 28 年度までには、各年次 2 回ずつの実施を定着させる。

イ 「社会の一員」としての自覚醸成のため、生徒有志による地域との連携活動に積極的に取り組む。

※平成 25 年度に NPO との連携を始めたので、平成 28 年度までには、地域清掃活動、地元保育園等との交流、NPO との連携活動を年間それぞれ 2 回以上の実施をめざす。

(2) 他者も自分も人権を尊重されるべきかけがえのない存在であることに気づかせ、命を大切にすることを最優先とした教育を行なう。

ア 「命」等をテーマに人権研修を行う。

※平成 25 年度は計 3 回実施したが、28 年度迄には、各テーマ（安全防災教育、薬物防止教育、人命尊重）で 2 回ずつ実施する。

(3) 心の問題に対処できるよう、教育相談体制や個に応じた支援体制の充実を図り、学校への定着と卒業を支援する。

ア 教育相談委員会の機能・機動性向上のためにも外部機関との連携を重視し、外部人材の活用も図る。

イ カウンセリングマインドの育成や、心療内科等に対する理解促進のために、教職員向け課題研修を行なう。

※平成 25 年度は教職員研修を 3 回実施したが、平成 28 年度には年 4 回以上の実施と、さらにケース会議の充実を図る。

※年度末の進級・卒業率（3 年卒業生数＋4 年進級者数／入学者数）を毎年引き上げ、平成 28 年度までに 60%以上とする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 26 年 10 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【学習指導等】</p> <p>・今年度は「わかる授業」の取り組みをさらに進め、授業や教え方等についての肯定的な回答はまず良好で、昨年度を少しだけだが上回っている。なお、授業アンケートにおける各授業への満足度の平均値は 76%であり、学校教育自己診断結果の値（平均 75%）とほぼ同様である。</p> <p>【生徒指導等】</p> <p>・カウンセリングや障がい理解の教職員研修を深め、学習サポーターの複数活用など、心のケア体制の充実を図り、教育相談室の来室数は増加し、関連してサポーターへの相談件数も増えている。が、「担任外で相談できる教職員がいる」と回答した生徒は昨年とほぼ変わらず 55%にとどまった。保健室のカウンセリング環境を向上させる必要がある。</p> <p>・「学校生活についての先生の指導は納得できる」の数値が昨年度より 5 ポイント減少している (73.1%)。今年度は当初から、ネットがらみのいじめ問題や</p>	<p>第 1 回 (7/19)</p> <p>○H26 年度学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の協力の機会を増やしてほしい。 ・自尊感情を育てる取り組みを強めてほしい。 <p>○学校広報について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校 Web ページが分かりやすくなった。 <p>第 2 回 (11/8)</p> <p>○授業アンケートの集計結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体として生徒からの評価が昨年度よりも向上しているのは評価できる。アンケート結果の活用方法を工夫し、さらに授業力向上を期待する。 <p>○自己評価（生徒向け、保護者向け）に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒向けでは、厳しい生徒指導の必要性も分かるが、「学校に行くのが楽しい」の数値が上がるよう努力してもらいたい。

<p>トラブルが発生した為、警察との連携も強め、厳しい指導体制を進めたことも影響していると考ええる。生徒がそれを納得して受け止めるためのHR指導を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の充実に対する肯定率が生徒、教職員とも向上している。法教育・消費者教育の研修の充実や就労卒業生の講演、また外部人材の活用等の取組効果もあると思われる。 <p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな課題であった保護者との連携であるが、「学校参加」の項目が20ポイント増加した(52.6%)。進路説明会や授業見学等、保護者の学校参加やアンケートの機会を増やし、呼びかけも強化したことも効果があったと考えている。また、殆どの項目において昨年度より肯定的評価が上昇しているため、保護者と教職員の連携が強まってきた結果である。さらに連携を強化していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けでは、殆どの項目において昨年度より肯定的評価が上昇し、特に「授業参観や学校行事等に参加したことがある」が、52.6%(昨年度30.6%)と大幅アップとなっているのは、保護者参加の機会を意識して増やし保護者との連携を強めたからであると思う。これをさらに進めてもらいたい。 <p>第3回(1/17)</p> <p>○自己評価(教職員向け)に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生方の頑張りがよく視える。ただ、到達度の低い生徒への学習指導について学校全体の方針を確立する必要がある。 ○定時制高校の意義について ・夜に学ぶ必要のある人のための学校であることを再度確認してもらいたい。
---	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

* 次年度の課題

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 学力伸長と進路実現(本校のキャリア教育の確立)	<p>(1) 学力の定着と伸長</p> <p>ア 習熟度別授業・モジュール授業、ICT機器、公開授業や研究授業、授業アンケートの効果的活用</p> <p>(2) 各年次段階に応じた適切な進路指導と情報の提供・理解</p> <p>イ 本校キャリア教育の推進</p> <p>(3) 進路実績の向上</p> <p>ウ 卒業年次の個別指導体制により、インターンシップや応募前見学を充実させる</p>	<p>ア・ICT活用授業や習熟度別授業で、生徒参加型のインタラクティブな授業により、分かる喜びを経験させ、学力向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> モジュール活用で、進路実現の基礎力(言語能力・計算力・一般常識等)を固める。 各教科での授業アンケートの活用、また公開授業や研究授業を行い、授業力向上を図る。 <p>イ・進路部中心に進路指導体制の全体計画を立案し、進路・担任の合同会議で適宜調整する。</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育講演会を年間4回以上実施する。保護者や地域の参加を促す。 資格取得の積極的支援を行う。 <p>ウ・企業との連携を進め、インターンシップや応募前見学を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒個々に合わせた指導体制を作り進路実績の向上をめざす。 	<p>ア・実力テスト(1年英語数学・国語)の伸長度を3割以上とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> HRにモジュール授業を定着させる。 学校自己診断における授業満足度:前年度比3~4%向上(H.25年度73%) 各教科の研究協議の定期実施(年間3回以上) <p>イ・進路・担任合同会議を定期的(年間3回以上)に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育講演会実施後の生徒アンケートの好評価70%以上 参加者アンケートを実施する。 <p>ウ・学校紹介等による就職と進学の実績:前年度比3~4%向上</p>	<p>ア・実力テストの伸長度:</p> <p>1年3教科平均は3割以上(○)</p> <p>熟度別授業に対する生徒評価アンケート:90%肯定</p> <ul style="list-style-type: none"> HRで10分テストの実施(就職コーディネーターにより新教材作成) 学校自己診断における授業満足度は75%とわずかが増加した。 生徒参加型授業研究(ICT活用授業研究チーム)を行い試行実施し、特に理科では実験授業を増やした。 授業見学週間を設け、各人3回程度授業見学を行い、その後、授業アンケート結果に基づき、各教科で研究協議を行った。(○) <p>主な協議は以下3回。</p> <p>○9月(6月の自主授業見学を踏まえる)</p> <p>○1月(10月授業見学週間と授業アンケートを踏まえる)</p> <p>○3月(まとめ、次年度に向けて)</p> <p>*さらに、組織的な授業力向上の取り組みを進めていきたい。</p> <p>イ・進路担任合同会議:前期、後期、各3回(○)</p> <p>○4/17、5/15 全体方向性確認</p> <p>○5/23 ハローワーク担当者と合同会議</p> <p>○9/4 応募前見学打ち合わせ</p> <p>○10/28 1次内定者について</p> <p>○1月末 最終チェック、次年度に向けて</p> <p>*入学時からの個別の進路支援の体制を、教育相談との連携で進めていくこととする。</p> <p>・キャリア教育講演会</p> <p>5/23:ハローワークより</p> <p>6/20:本校教員による就職心構え(保護者3名参加、アンケート実施)</p> <p>実施後生徒アンケートは各回好評価80%以上で、特に12/5:スマホや勧誘の被害(消費者センター)では、殆どの生徒が役だったと感じている。(◎)</p> <p>12/12:本校教員のキャリア教育授業</p> <p>1/30:先輩の就労体験等講話</p> <p>ウ・就職希望者全員に、応募前職場見学を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育相談との連携で、障がいのある生徒や外国籍生徒も含め、ガイダンスの充実を図った。 学校紹介等による就職と進学の実績は、1月段階で70%、前年度(63.3%)より7ポイント上昇した。(◎)

<p style="text-align: center;">2 心の教育の充実 (モラル教育に重点を置いた教育体制の構築)</p>	<p>(1) 法令を守り、他者の人権を尊重する姿勢の育成</p> <p>ア 法教育</p> <p>イ 生徒会中心に、ボランティア活動や地域交流の推進</p> <p>(2) 人命尊重の教育の推進</p> <p>ウ「命」等をテーマとする研修</p> <p>(3) 教育相談の充実と学校への定着、進級・卒業の支援</p> <p>エ 外部機関との連携強化</p> <p>オ 教職員向け研修とケース会議の充実</p> <p>カ 個に応じた支援体制の充実</p>	<p>ア・各年次で弁護士等を講師とした法教育を実施 ・卒業年次生については、雇用契約・社会保障等について、追加して実施する。</p> <p>イ・生徒会を中心とした地域清掃活動を、年間2回実施し、参加者を増やす。</p> <p>・地元保育園等との交流活動を計画・実施。 ・生徒会中心に、地域との連携を踏まえた心の活性化企画を推進する。</p> <p>ウ・自尊感情を育むことから始めて、「命」等をテーマに研修を行う。</p> <p>・保健部、生徒指導部中心に、健康教育、安全教育を計画的に進める。</p> <p>エ・帝塚山学院大学大学院との連携を継続し、ハートケアサポーター機能を高める。</p> <p>・SSWの活用 ・ピア日本語と連携して、渡日生支援をする。 ・堺市の相談機関等との連携を継続強化する。</p> <p>オ・生徒の心のケア等、本校が直面する学校課題教職員向け特別研修を実施し、またケース会議の充実を図る。*ケース会議には、担任や教育相談係、SCの他、必要に応じ外部機関の関係者もかかわる。</p> <p>カ・生徒個々の支援体制を整え、担任、SC、教育相談委員会の連携システムを強化確立する。</p> <p>・学校への定着と卒業を支援する。</p>	<p>ア・各年次に応じて法教育研修を実施し、生徒の事後アンケートにより意義の理解度チェック好評価65%以上</p> <p>イ・地域清掃ボランティア実施の生徒参加者のべ人数：前年度比5%増</p> <p>・地元の保育所との交流やNPOと連携した活動を年間3回以上行う</p> <p>ウ・命について、薬物防止、安全対策等必要なテーマで計画的に行い、生徒アンケートによる評価「役だった」75%目標</p> <p>エ・連携実施の実現 ・各連携会議の年間2回以上の実施</p> <p>オ・研修とケース会議に機能的繋がりを持たせ、課題をかかえる各生徒のケース会議年間2回以上</p> <p>カ・生徒の学校自己診断で「担任以外で保健室・相談室に相談できる先生がいる」前年度より3～5ポイント向上(H.25年度55%)</p> <p>・年度末の進級・卒業率(3年卒業生数+4年進級者数/入学者数)の上昇率3～4%</p>	<p>ア 法教育</p> <p>・9/19 インターネットと人権(法務局出前授業) ・12/12 契約について(1,2年次)事後アンケートで生徒の85%が「役立った」と答えている。(◎)</p> <p>・1/20 8名の弁護士が各年次ごとに講演。テーマは、交通安全や男女問題など身近なもので、生徒に大好評であった。 *次年度はアンケート内容を掘り下げ生徒の理解を深め、政治参加教育等を等加えていきたい。</p> <p>イ・周辺清掃活動(5,6月 各2回程度)(◎) ・清掃ボランティア：生徒会の呼びかけ(12月15日～19日 堺東駅～大浜公園)生徒参加者のべ人数は44名で、昨年より8名増加した。(◎)</p> <p>・地域交流や連携活動(○) 生徒会交流(8月、12月：定通生徒会交流会)他校との交流(9月、布施校文化祭で音楽部が招待演奏)保育園との交流(1月堺東保育園で紙芝居) ・地域NPOと連携し、被災地のひまわりの栽培。 ・11/15 ふるさと堺探検(地域の協力を得て、オリエンテーリング形式で各地点を廻る。)参加者は昨年度の2割以上増加した。</p> <p>ウ 生徒研修 ①4/18：交通安全講習(自転車マナー) ②7/11：健康教育(煙草の害) ③11/14：防災教育 ④1/23：薬物防止 「役だった」①80%②75%③80%④85%(○)</p> <p>エ 連携会議 ・帝塚山学院大学大学院との連携会議(○) 第1回4/17：ハートケアサポーターとして3名来校とする。(9/6：その3名と連絡相談会) 第2回7/19：現状把握と後期からの調整 ・ピア日本語との連携会議：6/13、10/8実施 ・2月に連携会議予定(来年度に向けて)</p> <p>オ・教職員向け特別研修 6/9 発達障がいについて、SCによる研修アンケート肯定的評価95%(◎) 8/22 人権研修：和泉市立人権文化センター、信太山周辺地場産業見学 9/12 インターネットと人権(法務局) ・ケース会議(○) 4月にSCを加えてのケース会議2回：学習支援員の活用を決めた。(1年男子) 5月、10月 教育相談と担任での会議2回(1年女子) 12月SSW、教育相談、担任(3年男女各1名) 1月SSWを加えてケース会議2回(3年男子2名) *研修とケース会議の有機的関連性を強めたい。</p> <p>カ・4/22 いじめ、薬物に関するアンケート実施。(意識啓発のため) 続いて、4/25HRでいじめ調査アンケートを行い、この結果に基づき、学年集会(5/15)。警察との連携も効を奏し、いじめ予防ができた。 ・生徒の学校自己診断で「保健室・相談室に相談できる先生がいる」は55%で変わらず。(△) *保健室のカウンセリング課題が解決途上である。 ただ、相談室来室者は益々増加傾向。今年度は、サポーターを増やしたので(3名)、教員以外によく相談している。(◎) ・今のところ、1年各クラス出席率は2/3程度 ・年度末の進級・卒業率(3年卒業生数+4年進級者数/入学者数)は54%(48/89)で、昨年度より6ポイント上昇している。(◎)</p>
--	---	--	--	---